

＜校務利用＞ ⑤ 教職員へのアンケート結果

どのくらいの頻度で生成AIを利用しているか？

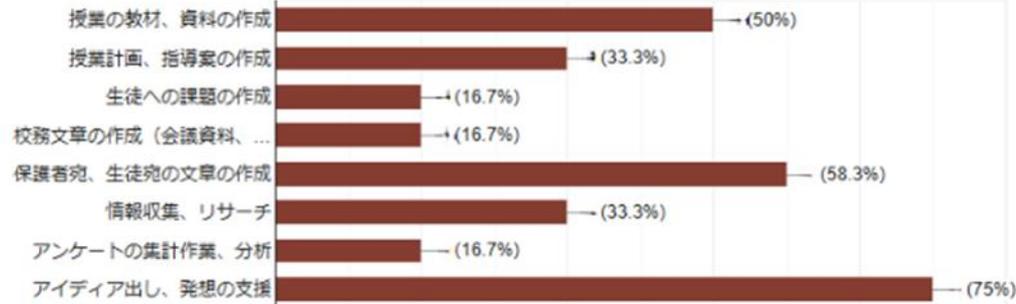


月	先生の 質問・指示数計	先生1人あたり の質問・指示数
2024-03	201	16.8
2024-04	768	34.9
2024-05	433	13.1
2024-06	250	10.9
2024-07	667	20.2
2024-08	930	30.0
2024-09	1181	43.7
2024-10	734	25.3
2024-11	1112	39.7
2024-12	1155	33.0

働き方に変化があったか？



どのような場面で活用しているか？



本校で生成AIの活用が進んだ理由として、
 「多くの職員が情報を共有、刺激をお互いに受けているため」
 「固定概念を捨て、チャレンジをして試みる姿勢が教員間、生徒との間で成立しているから」
 「強いリーダーシップと、教職員の前向きな取り組み、協力体制があるため」
 「挑戦しようとする風土があること。実際にやってみて、いいな、と実感をもてる機会がたくさんあること」
 というアンケートの結果が得られています。生成AIについては、
 「はじめは不安感もあったが、仕事の幅も生徒の授業内の活動の幅も広がった。」
 「生徒や保護者への文章作成の時間が半減した。また、自分にはないアイディアを得られた。」
 「教材作りや業務の改善に可能性を感じ、期待が大きい。うまく使いこなせれば、可能性を広げるものになる」
 との意見が得られています。今後の方向性としては、成功事例や失敗事例を共有し、教員のスキルアップを図りたいと考えています。